

| | | | |
|------------------|--|--------------|--------|
| 授業科目名 (英文名) | インターンシップ (Internship) | 科目区分 対象学生 | |
| 単位数 | 2.0 | 開講年次・ 学期 | 3年次・前期 |
| 担当教員 | 永田 正義 前中 一介 | 所属 | 工学研究科 |
| オフィス・場所 | | 連絡先 | |
| 講義目的及び到達目標 | <p>インターンシップ制度は、学生が在学中に企業にて就業体験をすることにより、職業意識を持って勉学への一層の動機付けを図るものとして設けられている。働くことや仕事に対するの漠然としたイメージを、しっかりした認識に変える「きっかけ」となる。責任ある仕事を任せられるので、自分の力を「実際に試す」経験ができる。現場での経験により、自分の強み・弱みを把握することができ、その後の大学生活で何を勉強していくべきなのかが明確になる。</p> <p>【達成目標】 定められた期間中に仕事をやり遂げる習慣を身につける。規律と協調性ある生活習慣と共に将来の自己イメージや就業意識を身につける。自己の適性を知ると共に物づくりの大切さを認識する。</p> | | |
| 講義内容・授業計画 | <p>【講義内容】 「労働力を提供する代わりに賃金を得る」アルバイトに対し、インターンシップは「自分の将来のキャリアプランを考えるために役立つ就業体験を得る」ことを目的としている。インターンシップは具体的な進路に関する考えを深める機会であり、キャリア教育の一環として位置付けている。夏期休暇中の約2週間程度の期間に実習を行う。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 学生の希望調査と調整 3. 派遣先企業の決定と申込書の送付 4. 覚書交換と誓約書の送付 5. 安全教育を中心とする事前教育 6. インターンシップ実習の実施 (夏休み期間中) 7. 履修日報、及び報告書の提出 8. インターンシップ報告会の実施 | | |
| テキスト | インターンシップ手引き書を配布 | | |
| 参考文献 | | | |
| 成績評価の基準・方法 | 実習報告書、実習報告会、及び派遣先企業の評価も考慮して判定する。 | | |
| 履修上の注意・履修要件 | 派遣先企業において兵庫県立大学の学生として恥ずかしくない服装・態度で臨むこと。 。申込者が全て受け入れられる訳ではないので、履修できないこともある。 | | |
| 実践的教育 | 該当する。 | | |
| 備考 | 提示する企業以外で、同時期に自ら探した企業でインターンシップを受ける場合にも、条件が整えば単位として認める。 | | |